

第 26 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。
問 1

基本予算は、会計期間に合わせて大綱的に編成されるものである[☆]のに対して、実行予算は、日常的なコントロールを強化するため[☆]に、基本予算を何らかの基準によって細分化した、より精度の高い予算として編成される[☆]ものである。実行予算には、月次あるいは四半期別などの期間を基準に細分化した実行予算や、工事別あるいはプロジェクト別などの作業を基準に細分化した実行予算がある^{☆☆}。

問 2

注文獲得費は、売上高の増加を目的とする広告費などの自由裁量原価である[☆]。よって、予算期間の計画にもとづいて、利益センターとしての各部門に割り当てる形で予算を編成する割当型予算による管理が適している[☆]。
注文履行費は、輸送費、保管費などの反復的な活動によって発生する原価である[☆]。よって、注文獲得費とは異なり、原価センターにおける変動予算や A B M による管理が適している[☆]。
全般管理費は、職員の給料や減価償却費などの管理業務によって発生する原価である[☆]。その金額は過去の意思決定の影響を受けて、予算期間中は固定費であることが多い。よって、固定予算による管理が適している[★]。

予想採点基準

☆や★の前の文の内容
が正解で加点

☆…2 点×9＝18 点

★…1 点×2＝2 点

〔第2問〕

記号(ア～チ)

1	2	3	4	5	6	7	8
オ	イ	サ	キ	エ	ス	シ	セ
★	☆	★	★	★	★	☆	★

予想採点基準

☆…2点×2=4点

★…1点×6=6点

〔第3問〕

問1

予定配賦額 円 ☆

予算差異 円 ★ 記号(AまたはB) ★

操業度差異 円 ★ 記号(同上) ★

問2

予定配賦額 円 ☆

予算差異 円 ★ 記号(AまたはB) ★

操業度差異 円 ★ 記号(同上) ★

問3

予定配賦額 円 ☆

予算差異 円 ★ 記号(AまたはB) ★

操業度差異 円 ★ 記号(同上) ★

予想採点基準

☆…2点×3=6点

★…1点×12=12点

〔第4問〕

問1

ア. ￥ 5,000,000 ☆ イ. ￥ 18,000,000 ☆ ウ. ￥ 1,500,000 ☆
エ. ￥ 5,400,000 ☆ オ. ￥ 3,000,000 ☆ カ. ￥ 900,000 ☆

問2

￥ 7,388,000 ☆☆ 記号（AまたはB） A ☆

予想採点基準

☆…2点×9=18点

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書			
自 20X7年6月 1日			
至 20X7年6月30日			
		別府建設工業株式会社	
		(単位：円)	
I. 材料費		1,358,150	☆☆
II. 労務費		1,049,300	☆☆
	(うち人件費 324,080)		☆
III. 外注費		250,370	☆☆
IV. 経費		571,200	☆☆
	(うち人件費 343,070)		☆
完成工事原価		3,229,020	☆☆

問2

￥ 1,183,940 ☆☆

問3

① 重機械部門費予算差異 ￥ 7,870 ☆ 記号(AまたはB) A ★
② 重機械部門費操業度差異 ￥ 5,600 ☆ 記号(同上) B ★

予想採点基準

☆…2点×16=32点

★…1点×2=2点